

令和3年度 第2回大分県障がい者工賃向上推進委員会

説明資料

大分県福祉保健部障害者社会参加推進室

## 議事（１）

前回委員会（令和２年度）での意見と対応状況

令和2年度大分県工賃向上推進委員会 意見と対応について

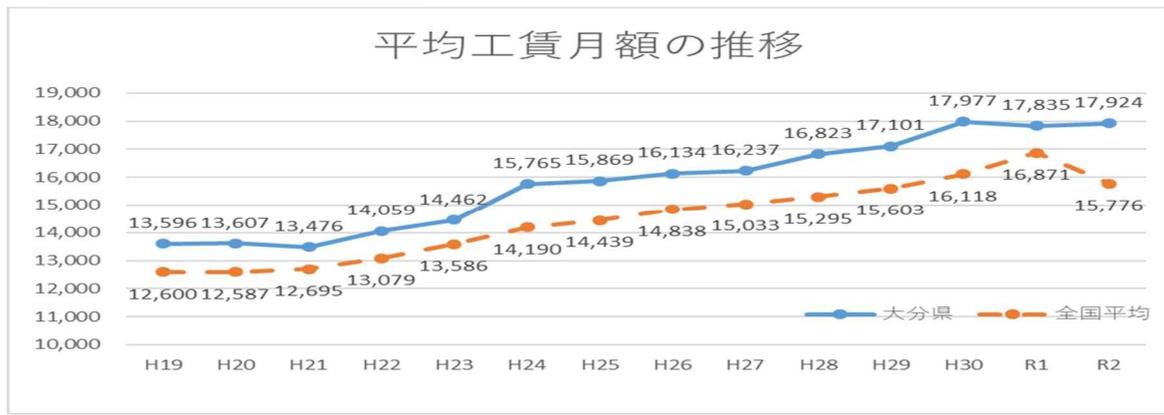
項番	発言委員	委員発言内容	対応状況
1	花宮委員	<p>専門家による経営指導をうけた事業所の成果やどうかたちで改善できたか、など次回委員会で共有してもらいたい。</p>	<p>専門家によるB型事業所の経営力の育成強化事業を令和3年度に10事業所で実施した。対象だった10事業所の指導内容については、補足資料1～9Pを参照。</p>
2	石松委員	<p>農福マルシェの際に、国東市内の小中学校にチラシを配布しているのがいい取組と思った。福祉分野以外にも配る取組は是非継続してもらいたい。</p>	<p>今年度は農福マルシェを1回開催できたが、新型コロナウイルスの影響により大々的な集客活動を控えた。次年度以降も農福マルシェを開催する予定にしており、その際には様々は関係機関へ周知活動を実施したい。</p>
3	小串委員	<p>販売会も公共の場だけを戦略とするのではなく、人が集まりづらい業種態なんかに営業をかけたら良いんじゃないか。</p>	<p>共同受注センターによる販売会営業を、住宅展示場関係などに実施。 新型コロナウイルス感染拡大によりイベント実施にはいたっていないが、次年度以降も営業活動を継続していく。</p>
4	平川委員	<p>別府市が障がい福祉施設を対象に、キッチンカーの出店を行っている。是非他の市町村にも取り組みを周知してもらいたい。</p>	<p>別府市役所内でのキッチンカー事例や、大分県庁本館で実施した障がい者施設による販売会事例を県内市町村に周知。 各市町村とは年1回連絡会を実施しているの、引き続き周知し実施のお願いをしていきたい。</p>
5	石松委員	<p>在宅就労事業は、事業所に出でてくることが難しいんだけど、社会と繋がるとかいうところで、大事な事業だと思う。形にしてみられれば。</p>	<p>令和元年度～3年度にかけて県内B型5事業所で支援体制構築のための事業を実施した。県の支援事業は今年度までだが、5事業所は次年度以降も在宅就労を継続していく予定。</p>
6	石松委員	<p>工賃向上の中では、事業所主体であるように感じ取れてしまう。なんで工賃を上げたほうがいいのか、なんで働くのかっていうようなことまでも利用者さんにお伝えしながら支援していくことを事業所にも伝えていってほしい。</p>	<p>県内B型事業所を対象とした工賃向上講座をオンラインで実施。その中で、工賃向上は利用者や支援者の共通目標であり、目標工賃やそのためのどのような取組が必要かについて利用者と共有することの重要性についての講義を実施した。補足資料8～9P参照</p>

## 議事（２）

### 工賃向上計画（第４期）の進捗状況

## ■令和2年度の平均工賃月額実績について

- 就労継続支援B型事業所222施設の令和2年度平均工賃月額は、前年度から89円(0.5%)増加し、17,924円(R1年度:17,835円)となった。(全国平均額 15,776円)。
- 工賃支払総額は、前年度から約5千万円(5.3%)増加し、約9億8千万円(R1年度:約9億3千万円)となった。
- 利用者延べ人数は、前年度から2,518人(4.8%)増加し、54,697人(R1年:52,179人)となった。
- 工賃支払い総額の伸び率(5.3%)が利用者延べ人数の伸び率(4.8%)を上回ったことから平均工賃月額の微増となった。



### ■各年度の工賃向上計画における目標工賃と実績の比較

	H29	H30	R1	R2
工賃実績(月額)	17,101円	17,977円	17,835円	17,924円
目標工賃(月額)	17,773円	17,831円	18,336円	18,841円
工賃実績-目標工賃	▲672円	+146円	▲501円	▲917円
工賃実績(時間額)	240円	248円	247円	247円
目標工賃(時間額)	232円	247円	254円	261円
工賃実績-目標工賃	+8円	+1円	▲7円	▲14円

### ○令和2年度平均工賃月額についての分析

- ・平均工賃月額が前年度対比3割以上減少した事業所が7事業所(前年度は4事業所)。減少した要因として、全事業所が新型コロナウイルスの影響によるものと回答。部品組立・ギフト梱包・お土産組立・木工作業等の内職作業、施設外就労での農作業などの受注が減少した。
- ・平均工賃月額が前年度対比3割以上増加した事業所は16事業所(前年度は10事業所)新型コロナウイルスの影響によりマスク縫製作業が急増、新規にIT作業等の高単価な作業を受注した、新規営業活動を強化し販路拡大を図った、官公庁からの新たな発注獲得など
- ・平均工賃月額が4万円以上の事業所は10事業所(前年度5事業所)。工賃の高い利用者確保することができた、データ入力やデータPDF化の作業に取り組んだことで売り上げが増額など

以上の状況から新型コロナウイルスによる受注減などの状況があったが、平均工賃月額としては前年度から微増となった。

## ・工賃向上計画（第4期）の進捗状況

### ア 共同受注センターの活動状況

#### ■目的

大量受注や新規受注に対応するため、営業活動や契約事務等を行う共同受注センターの体制を強化し、新たな官公需や民需の拡大に向けて、地元企業等との協働による販路拡大等により、さらなる工賃向上を目指す。

#### ■運営体制

- ・将来的に持続可能な共同受注組織を目指し、平成30年4月から会費制を導入(月額2千円)
- ・官公需や民需に係る関係者が参画する協議会を設置(H30.7.12、H31.1.31、R2.1.29、R3.1.28、R4.1.28 の5回開催)
- ・会員事業所数 107 事業所(R4.1 月時点)(R3.4.1 102 事業所<新規加入 5 事業所>)
- ・令和3年度から、一般社団法人「おおいた共同受注センター」として運営開始。

#### ■事業内容 (R3.12 現在)

- 障がい福祉サービス事業所等活用促進協議会の活用
- 民間企業への営業活動
  - ・民間企業 94 団体(うち新規 37 団体) [R2 63 団体 (うち新規24 団体)]
- 官公庁への営業活動
  - ・県(21 所属)、国の出先機関(3 機関)計 24[R2 23]
- 共同販売会の実施
  - ・県内5会場で5回開催 延べ23事業所が参加 [R2 5回開催 延べ18事業所]
- 広報活動
  - ・HP「おおいた共同受注センター」 <https://oitakyojyu.net/>
- A型、B型事業所等の現況調査及びフォロー
  - ・新規設立事業所の作業能力、販売物品、希望受注ニーズ等の調査(9事業所<うち会員登録8事業所>)

◆令和3年度販売実績(令和3年12月末時点) 仮締め・未報告有り 単位:千円

業種	令和3年度(4~12月)			令和2年度(4月~12月)			進捗		
	官公需(A)	民需(B)	合計(C)	官公需(D)	民需(E)	合計(F)	官公需(A/D)	民需(B/E)	合計(C/F)
メンテ・リサイクル	3,112	8,396	11,508	2,698	13,978	16,676	115.3%	60.1%	69.0%
農産物	0	0	0	0	253	253		0.0%	0.0%
弁当	423	371	794	502	668	1,170	84.3%	55.5%	67.9%
菓子・加工品	0	80	80	0	52	52		153.8%	153.8%
印刷・情報	871	162	1,033	610	67	677	142.8%	241.8%	152.6%
製造・役務委託	480	28,030	28,510	703	22,151	22,854	68.3%	126.5%	124.7%
手工芸・物品	0	0	0	881	2	883	0.0%	0.0%	0.0%
農作業共同受注		24,450	24,450		20,107	20,107		121.6%	121.6%
販売会		896	896		296	296		302.7%	302.7%
県庁店舗		5,315	5,315		6,174	6,174		86.1%	86.1%
合計	4,886	67,700	72,586	5,394	63,748	69,142	90.6%	106.2%	105.0%

(メンテ・リサイクル) 電子メーターリサイクル作業の事業所作業数低下により減

(弁当) 配食数低下により減

(印刷・情報) 封筒など印刷物増

(製造・役務委託) アクト合成の車のバリ取り作業が R2 年度から開始となり増

(農作業共同受注) 今年度より JA ベっぷ日出の柑橘類委託業務開始となり増

(販売会) 昨年度中止となった農業祭が今年度開催されたため増

## ■共同受注センター販売会の開催実績

- (1)開催回数 5回 (R1年度同時期17回、R2 年度同時期5回)  
 (2)売り上げ 896,360 円 (R1年度同時期 1,348,930 円、R2 年度同時期 295,935 円)

実施日	開催内容	事業所数	売り上げ
4月1日～30日	別府市役所中庭	5	183,950
5月1日～31日	別府市役所中庭	4	77,370
7月31日	パークプレイス大分センターステージ	6	120,630
10月16.17日	令和3年度大分県農業祭	5	379,750
11月27日	ヒューマンフェスタ2021おおい	3	134,660
合計		23	896,360

令和2年度から引き続き新型コロナウイルスの影響で、販売会の開催が減少したままである。毎年一番売り上げが大きい「大分県農林水産祭」が昨年度は中止となったが今年度は開催されたため売上は昨年度より増加しているが、コロナ前の水準までは戻っていない。

パークプレイス大分 センターステージ



別府市役所 中庭



## ■IT業務の受注強化について

●会員事業所の工賃向上を目的として、今後受注増が見込めるIT分野の営業・受注体制の強化を図る。社会福祉法人太陽の家に受注体制の構築についてのコンサルを委託し、各会員事業所のIT業務遂行能力の把握、企業への営業活動を実施している。(令和3年度は R3.10 月から委託実施)

- (10月～11月)IT業務の実施を希望する事業所を訪問し、IT業務遂行能力の確認  
 県内企業へ営業をする際に使用する営業ツールとしてチラシ作成  
 (12月) 新規企業営業訪問 7社実施  
 (1月) 新規企業営業訪問 3社実施

・現在交渉中の案件 名刺データ編集作業、動画編集作業

## 工賃向上計画（第4期）の進捗状況

### イ 専門家によるB型事業所の育成・強化事業

#### ○概要

就労継続支援B型事業所利用者の工賃向上を図るため、経営の専門家を派遣し、事業計画や収益向上、商品・サービスの価値向上に関すること等の助言・指導を行う。

#### ○対象

県内就労継続支援B型事業所 10事業所

#### ○委託事業者名

株式会社 ふくしごと

障がい者施設の商品企画・製造・販売や、障がい者が関わるイベントの企画運営などを多く手がけ、近年では福岡県と佐賀県でも工賃向上のための福祉事業所コンサルティング事業を受託するなど、九州各県で障がい者施設の支援に取り組んでいる。

#### ○事業の流れ

- ①個別ヒアリング(9月):課題抽出、コンサル内容や全体プログラム説明
- ②オンライン経営者研修(10月):責任者・管理者向け事業所経営研修  
工賃向上を実現する経営的視点について
- ③オンライン基礎研修/2回(11月):工賃向上のための職員向け基礎研修
  - 1.計画編/商品サービス編
  - 2.営業編
- ④個別コンサル(12月～1月):工賃向上に向けた個別コンサル(1回)
- ⑤オンライン成果発表会・公開講座(2月):受講事業所による成果発表、講師を招いた講座開催  
令和3年度は社会福祉法人南高愛隣会 吉岡氏に講師を依頼  
近年多方面から注目を集めている「久遠チョコレート」のフランチャイズ事業を就労継続支援事業所2か所に導入し、久遠チョコレート島原店・長崎店の運営責任者の役割を担っている

各事業所の詳細なコンサル内容については、補足資料○P参照。

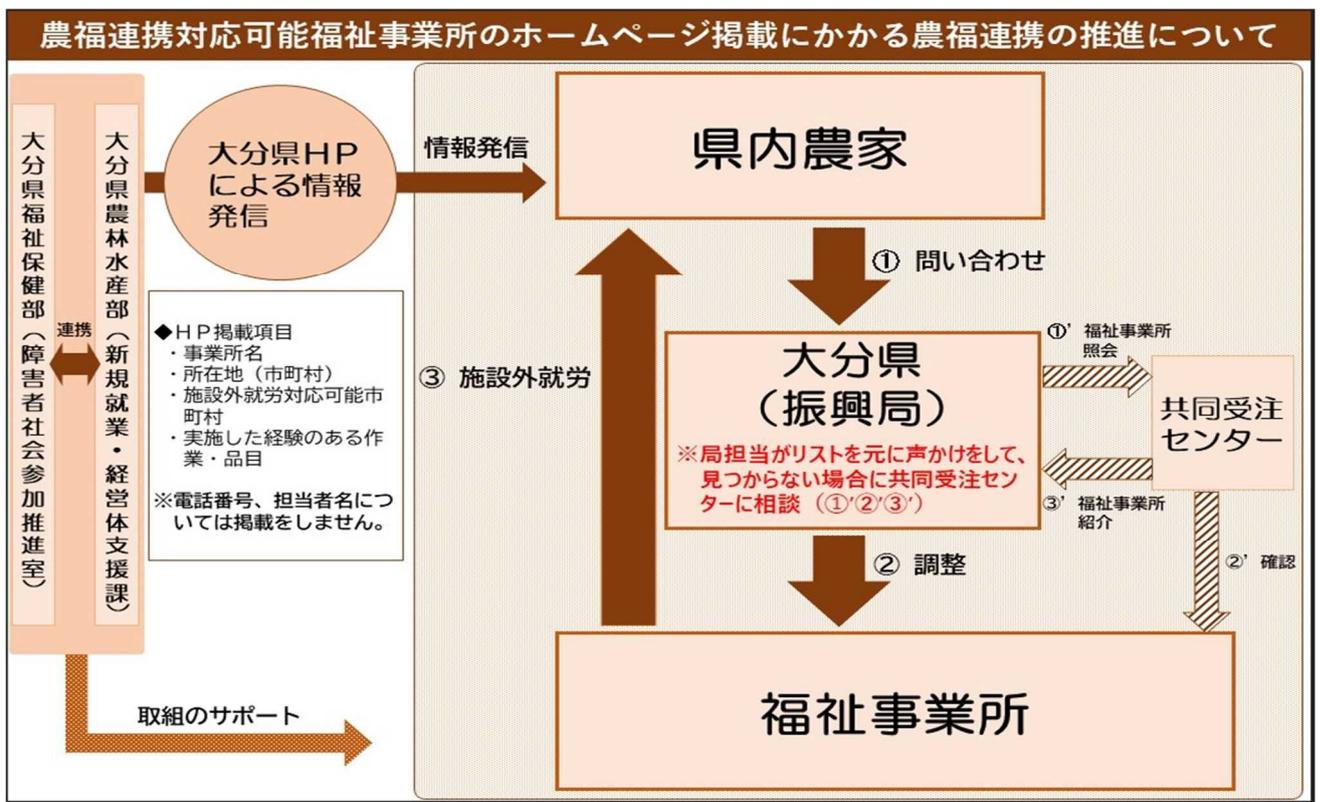
# 工賃向上計画（第4期）の進捗状況

## ウ アグリ就労アドバイザー等配置事業

### 1. アグリ就労アドバイザーによる技術指導等

- ・事業所内で農業を実施しているB型事業所を訪問し、農業技術の指導を行う。農業を新しく始める際の相談対応や、上手く育たないといった悩み解決のサポートを実施。  
(今年度延べ82回訪問 (R4.1月末時点))
- ・アグリ就労アドバイザーが訪問支援を行った事業所の平均工賃月額実績  
R2年度に支援を行った事業所 (84事業所) R1:18,556円⇒R2:18,896円 (+340円)

### 2. 大分県ホームページを活用し、施設外就労で農作業ができる可能性のある事業所を周知【現在、A型13事業所、B型29事業所を掲載】



- ①大分県ホームページに掲載する施設外就労相談可能事業所一覧を見た県内農家が、各地域の大分県振興局へ問合せを行う。
- ②各振興局担当から施設外就労相談可能事業所一覧の中から対象となる事業所へ連絡し、県内農家と福祉事業所の間に入り、仕事の内容、勤務場所、必要人数等の契約条件を調整。契約のサポートも併せて行う。
- ③福祉事業所から県内農家へ施設外就労を行う。

### 3. 農福マルシェ実績

新型コロナウイルスの影響により、R3年度は1回開催。  
1/29 (土) イオンパークプレイス大分 10事業所が参加 売上計 230,070円  
次年度以降もマルシェの開催を予定しており、開催方法等については新型コロナウイルスの状況等を踏まえ検討していく。

・工賃向上計画(第4期)の進捗状況

工. 官公需の発注状況

**官公需の発注状況**  
～R3実績(見込み)～

(単位:円)

種 別		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)
大分県	物 品	8,923,485	20,269,012	22,146,804	19,635,497	35,858,952	38,080,052	28,544,424	29,537,652
	役 務	22,312,399	31,271,296	25,244,105	27,421,865	31,012,785	44,661,937	47,244,534	47,166,012
	計	31,235,884	51,540,308	47,390,909	47,057,362	66,871,737	82,741,989	75,788,958	76,703,664
市町村	物 品	15,232,075	16,902,171	17,488,696	21,975,990	17,368,813	21,417,295	24,051,619	集計中
	役 務	172,551,110	166,360,732	176,410,168	185,276,094	193,219,215	226,413,853	233,618,783	〃
	計	187,783,185	183,262,903	193,898,864	207,252,084	210,588,028	247,831,148	257,670,402	〃
合計	物 品	24,155,560	37,171,183	39,635,500	41,611,487	53,227,765	59,497,347	52,596,043	〃
	役 務	194,863,509	197,632,028	201,654,273	212,697,959	224,232,000	271,075,790	280,863,317	〃
	計	219,019,069	234,803,211	241,289,773	254,309,446	277,459,765	330,573,137	333,459,360	〃

※発注先:就労継続支援事業所(A型、B型)などの障害者総合支援法に基づく事業所・施設等  
※R3年度・・・上半期発注実績+下半期発注見込み

＜発注促進の取組＞

- 4月1日 部長会議にて各部局長に福祉保健部長から調達方針の説明と調達目標に向けた積極的な取組を依頼
- 4月 市町村障がい福祉担当者会議で優先調達の発注促進について依頼(開催できなかったため資料送付のみ)
- 5月25日 更なる推進を県庁全所属、全市町村、国の機関へ文書依頼
- 7月27日 障がい者優先調達推進県市町村連絡会にて各市町村の取組状況の確認、発注事例について情報交換
- 10月8日 更なる推進を全市町村へ文書依頼
- 11月9日 更なる推進を県庁全所属へ文書依頼
- 2月18日予定 大分県障がい者優先調達推進協議会にて令和4年度の方針決定

＜特徴的な発注＞

- ・県有地の除草(企業局) 8,880,000円
- ・敷地内除草、野良犬・猫のお世話等(大分県動物愛護センター) 4,856,082円
- ・新型コロナ対策のための手指消毒液を小型スプレー容器に封入作業を発注(大分県障がい者スポーツ協会)286,040円
- ・「大分県障がい者計画」冊子 点字版資料作成(障害福祉課) 416,200円

調達業務別実績

(単位:千円)

	業務	主な調達所属	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(見込)
物 品	各種印刷物 (名刺印刷、資料印刷等)	・本庁各課及び各地方機関	6,537	15,653	16,541	17,876	23,702	27,851	23,671	22,923
	弁当、お茶、コーヒー	・各該当機関(随時)	394	354	241	354	1,711	1,639	533	699
	敬甲板	・各該当機関(随時)	108	195	58	108	72	108	44	0
	記念品 (ストラップ、キーホルダー 等)	・各該当機関(随時)	36	3,822	4,429	13	1,405	15	0	722
	庁用物品 (エコバッグ等)	・各該当機関(随時)	288	221	587	808	338	162	79	72
	啓発用物品 (マグカップ等)	・各該当機関(随時)	423	16	290	462	6,884	6,554	3,751	3,879
	園芸資材 (花苗、野菜苗等)	・各該当機関(随時)			1	2	200	6	3	0
	その他(消耗品、備品等)	・各該当機関(随時)	1,137	8		11	1,547	1,742	461	767
	計		8,923	20,269	22,147	19,634	35,859	38,077	28,542	29,062
役 務	庁舎敷地除草・清掃業務	・各地方機関(振興局、保健所等) ・教育庁の各関係機関 ・各警察署等	9,279	11,548	11,052	12,586	12,709	17,228	17,989	18,674
	庁舎敷地内樹木管理業務	・用度管財課及び各地方機関 (振興局、保健所等) ・各県立高校及び県立支援学校	3,577	3,618	3,790	3,669	3,845	4,055	5,576	4,885
	県有地、住宅等除草	・各該当機関(随時)	328	185	587	528	1,403	9,539	10,058	10,777
	校舎除草・清掃業務	・各県立高校及び県立支援学校	5,387	6,768	7,229	7,031	8,060	8,842	8,665	8,858
	点字資料等作成	・各該当機関(随時)	1,747	2,554	2,368	2,207	3,088	2,559	3,436	2,691
	クリーニング	・各地方機関(振興局、保健所等) ・各警察署 ・県立支援学校	149	170	134	191	224	279	231	356
	データ入力作業	・各該当機関(随時)	0	0	0	0	30	110	35	36
	緑化用苗木配布作業	・各該当機関(随時)	0	0	0	0	0	0	0	0
	食器等の洗浄及び 梱包業務	・各該当機関(随時)	52	46	39	56	83	0	0	0
	その他業務 (封入作業、プリンター管 理等)	・各該当機関(随時)	1,793	6,382	45	1,155	1,570	2,045	1,250	805
	計		22,312	31,271	25,244	27,423	31,012	44,657	47,240	47,082
合 計			31,235	51,540	47,391	47,057	66,871	82,734	75,782	76,144

## ・工賃向上計画(第4期)の進捗状況

### オ その他実施した工賃向上に向けた取組

#### ①メルカリ Shops オンラインセミナーの開催

新型コロナウイルスの影響により対面販売等の機会が減少している状況をうけ、県内就労継続支援事業所向けにネット販売についての「メルカリ Shops オンラインセミナー」を 11/12(金)に株式会社ソウゾウ主催により開催した。

##### ○メルカリShopsとは

- ・「かんたんで、売れる」をコンセプトに、スマホ1つでネットショップを開設し、ショップ運営者が商品を直接メルカリのプラットフォーム上で販売することができるサービスで、令和3年10月から本格提供開始
- ・メルカリShopsは、株式会社メルカリにおける新規事業の企画・開発・運営を担うグループ会社である「株式会社ソウゾウ」が運営

##### セミナー内容

- ・EC事業の必要性
- ・メルカリShopsの特長とよく売れている商品
- ・出店の手順
- ・売り方のワンポイントアドバイス
- ・質疑応答

県内15事業所が参加し、そのうち10事業所が出店した、もしくは出店予定と回答

#### ②福祉事業所による県庁舎内販売会の開催

新型コロナウイルスの影響により販売会等イベントの機会が減少している状況をうけ、12/10(金)に大分県庁本館1階ATMコーナー前にて福祉事業所による販売会を開催した。

5事業所が参加し、11:30~13:00の時間で販売を行い、5事業所計 150,000 円の売上となった。